

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2011年11月15日から2021年10月22日まで
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	特定のユーロ円債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の70%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 収益分配に充てなかった留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

運用報告書(全体版)

楽天USリート・トリプルエンジン (トルコリラ)毎月分配型

第78期(決算日：2018年5月22日) 第81期(決算日：2018年 8月22日)
第79期(決算日：2018年6月22日) 第82期(決算日：2018年 9月25日)
第80期(決算日：2018年7月23日) 第83期(決算日：2018年10月22日)

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いましたので、当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

本資料(運用報告書(全体版))の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

■本資料の表記に関する注記

- ・金額等の数値は単位未満切捨または四捨五入により表示しております。このため、各項目の合計の値が合計欄と一致しないことがあります。
- ・－印は、組入・売買が無いことを示します。

最近5作成期の運用実績

決 算 期	(分 配 落)	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	純資産総額	
		税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率			
第10 作成期	54期(2016年 5月23日)	円 6,356	円 100	% △2.2	% 98.4	百万円 1,775
	55期(2016年 6月22日)	5,999	100	△4.0	97.8	1,504
	56期(2016年 7月22日)	5,887	100	△0.2	97.8	1,431
	57期(2016年 8月22日)	5,437	100	△5.9	97.7	1,288
	58期(2016年 9月23日)	5,261	100	△1.4	96.5	1,248
	59期(2016年10月24日)	5,192	100	0.6	91.7	1,184
第11 作成期	60期(2016年11月22日)	5,048	100	△0.8	94.7	1,141
	61期(2016年12月22日)	5,526	100	11.5	95.7	1,154
	62期(2017年 1月23日)	4,860	100	△10.2	97.2	1,013
	63期(2017年 2月22日)	4,872	100	2.3	96.2	1,072
	64期(2017年 3月22日)	4,595	100	△3.6	95.5	1,064
	65期(2017年 4月24日)	4,401	100	△2.0	95.8	1,094
第12 作成期	66期(2017年 5月22日)	4,509	100	4.7	95.3	1,186
	67期(2017年 6月22日)	4,733	100	7.2	96.0	1,244
	68期(2017年 7月24日)	4,661	100	0.6	94.9	1,252
	69期(2017年 8月22日)	4,464	100	△2.1	95.6	1,211
	70期(2017年 9月22日)	4,731	100	8.2	92.8	1,470
	71期(2017年10月23日)	4,577	100	△1.1	94.9	1,337
第13 作成期	72期(2017年11月22日)	4,179	100	△6.5	95.9	1,214
	73期(2017年12月22日)	4,273	100	4.6	95.6	1,238
	74期(2018年 1月22日)	3,951	100	△5.2	94.8	1,250
	75期(2018年 2月22日)	3,501	100	△8.9	96.4	1,050
	76期(2018年 3月22日)	3,313	100	△2.5	97.2	1,002
	77期(2018年 4月23日)	3,270	50	0.2	94.5	1,025
第14 作成期	78期(2018年 5月22日)	3,167	50	△1.6	96.3	959
	79期(2018年 6月22日)	3,065	50	△1.6	96.8	911
	80期(2018年 7月23日)	3,173	50	5.2	96.7	926
	81期(2018年 8月22日)	2,494	30	△20.5	96.1	772
	82期(2018年 9月25日)	2,549	30	3.4	97.0	782
	83期(2018年10月22日)	2,735	30	8.5	97.8	844

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

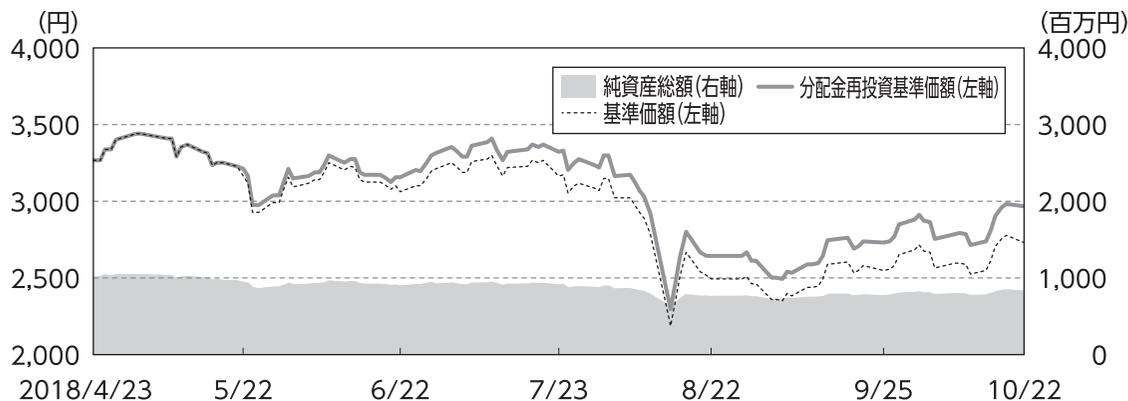
当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
			騰 落 率	
第78期	(期 首)2018年 4月23日	円	%	%
		3,270	—	94.5
	4月末	3,408	4.2	95.8
第79期	(期 末)2018年 5月22日	3,217	△1.6	96.3
	(期 首)2018年 5月22日	3,167	—	96.3
	5月末	3,163	△0.1	97.4
第80期	(期 末)2018年 6月22日	3,115	△1.6	96.8
	(期 首)2018年 6月22日	3,065	—	96.8
	6月末	3,214	4.9	98.9
第81期	(期 末)2018年 7月23日	3,223	5.2	96.7
	(期 首)2018年 7月23日	3,173	—	96.7
	7月末	3,072	△3.2	97.5
第82期	(期 末)2018年 8月22日	2,524	△20.5	96.1
	(期 首)2018年 8月22日	2,494	—	96.1
	8月末	2,467	△1.1	95.7
第83期	(期 末)2018年 9月25日	2,579	3.4	97.0
	(期 首)2018年 9月25日	2,549	—	97.0
	9月末	2,655	4.2	96.9
	(期 末)2018年10月22日	2,765	8.5	97.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

当作成期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第78期首：3,270円

第83期末：2,735円 (既払分配金240円)

騰落率：△9.2% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として米国の不動産投資信託指数に連動する上場投資信託(米国リートETF)の投資信託証券ならびに対円でのトルコリラのパフォーマンスを反映するユーロ円債(リート連動債)に投資しており、リート連動債の価格変動が基準価額の主な変動要因となります。リート連動債の主な価格変動要因は、米国リート、トルコリラ/円、米ドル/円の各相場変動となります。

当作成期間においては、米国リートの上昇や米ドル高/円安がプラス寄与となったものの、トルコリラの対円での大幅な下落がそれを上回るかたちでマイナスに寄与し、基準価額を押し下げました。

■投資環境

●米国リート市場

当作成期間の米国リート市場は、前作成期末比で上昇しました。

当作成期初から8月末頃までは、米国の長期金利の落ち着きに加え、良好な企業決算を背景に米国株式が上昇基調を維持したことなどを背景に、米国リート市場も堅調な展開となりました。9月以降は米長期金利が上昇に転じたことや^(※)、高値警戒感から米国株式が調整色を強めたことなどが米国リート市場の重石となり、8月までの上昇幅を縮小する展開となりました。セクター別ではヘルスケアや小売関連のリートなどが大きく上昇した一方、ホテル・リートは下落しました。

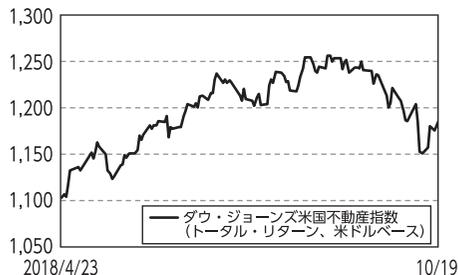
※米国リート市場の参加者には利回り重視の投資家が多く、米長期金利の水準はリートの配当利回りと比較され、リートの相対的な投資妙味を判断する重要な材料となっています。長期金利の上昇は通常、リートの利回り面での相対的な魅力を低下させる要因として、逆に長期金利の低下はリートの利回り面での相対的な魅力を向上させる要因として、それぞれ認識される傾向があります。

●為替市場

トルコリラ／円相場

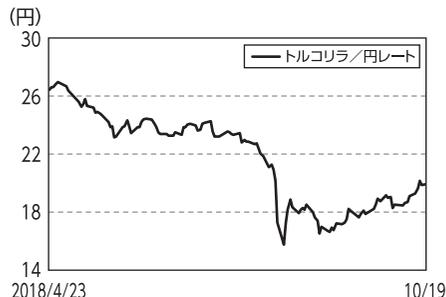
当作成期間のトルコリラは、対円、対米ドルともに大きく下落しました。

トルコリラは当作成期初から5月下旬にかけてまとまって下落したほか、8月前半にも急落しました。過大な経常収支赤字や高止まりするインフレ率、高い外債建債務への依存といったトルコの脆弱な経済ファンダメンタルズが広く投資家の懸念材料となっていることに加え、金融政策に介入する姿勢を崩さない政権運営に対する不信も強まるなか、5月下旬はこうした悪材料が表面化する格好でトルコリラの下落が進みました。その後、トルコ中央銀行の緊急利上げによってトルコリラは一旦下げ止まったものの、8月には、2016年のクーデター未遂事件に関連して拘束されている米国人牧師の問題を巡って、米国が制裁措置の一環としてトルコに対するアルミ・鉄鋼関税の引き上げを表明したことをきっかけに、トルコリラ売りが再び急加速しました。しかし、トルコリラ急落を受けたトルコ中央銀行が9月13日に市場予想を上回る利上げを実施したことをきっかけにトルコリラは反転し、作成期末にかけては上昇基調が続きました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

米ドル／円相場

当作成期間の米ドル／円相場は、期を通して米ドル高／円安基調となりました。

イタリアやスペインの政局不安やトルコ市場の混乱などの地政学リスク、米中貿易摩擦などに注目が集まる局面では、リスク回避的な円買いの動きから一時的に米ドル安／円高に振れる動きが見られましたが、好調な経済指標や企業業績を背景に米国が利上げを継続し、日米の金利差拡大が意識されやすい環境が続いたことから、概ね米ドル高／円安基調が維持されました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

■当ファンドのポートフォリオ

追加設定・一部解約による資金フローを鑑みながら、リート連動債のパフォーマンスを享受すべく、同債券の組入比率を高位に維持するよう運用を行いました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■分配金

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

●分配原資の内訳

(1万口当たり・税込)

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年4月24日～ 2018年5月22日	2018年5月23日～ 2018年6月22日	2018年6月23日～ 2018年7月23日	2018年7月24日～ 2018年8月22日	2018年8月23日～ 2018年9月25日	2018年9月26日～ 2018年10月22日
当期分配金 (円)	50	50	50	30	30	30
(対基準価額比率) (%)	(1.6)	(1.6)	(1.6)	(1.2)	(1.2)	(1.1)
当期の収益 (円)	50	50	50	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	5,318	5,454	5,602	5,778	5,780	5,784

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドでは、引き続きリート連動債の組入れ比率を高位に保ちながら、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行ってまいります。

1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2018年4月24日～2018年10月22日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	22円	0.734%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ※期中の平均基準価額は2,997円です。
(投信会社)	(11)	(0.367)	・ 委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(10)	(0.334)	・ 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.033)	・ 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	5	0.167	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.067)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.033)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(2)	(0.067)	・ 印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	・ その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料等
合 計	27	0.901	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

■ 公社債

		当 作 成 期	
		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	社 債 券	182,000	— (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

組入資産の明細

■ 国内(邦貨建)公社債種類別

区 分	当 作 成 期 末				残 存 期 間 別 組 入 比 率		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
社 債 券	千円 3,515,000 (3,515,000)	千円 826,763 (826,763)	% 97.8 (97.8)	% — (—)	% — (—)	% 97.8 (97.8)	% — (—)
合 計	3,515,000 (3,515,000)	826,763 (826,763)	97.8 (97.8)	— (—)	— (—)	97.8 (97.8)	— (—)

(注1) ()内は非上場債で内書き。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。小数点以下第2位を四捨五入。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■ 国内(邦貨建)公社債銘柄別

当 作 成 期 末	当 作 成 期 末	当 作 成 期 末	当 作 成 期 末	当 作 成 期 末
銘 柄 名	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
社債券 STAR Helios plc JPY Notes linked to U.S. REIT Covered Call Strategy 9 April 2021	% 3.60	千円 3,515,000	千円 826,763	2021/4/9
合 計		3,515,000	826,763	

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	826,763	95.3
短 期 金 融 資 産、そ の 他	40,617	4.7
投 資 信 託 財 産 総 額	867,380	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2018年5月22日)、	(2018年6月22日)、	(2018年7月23日)、	(2018年8月22日)、	(2018年9月25日)、	(2018年10月22日)現在
	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
(A)資 産	988,242,269円	931,282,147円	947,931,573円	818,955,784円	800,905,632円	867,380,772円
コール・ローン等	62,955,100	48,927,247	52,389,661	76,433,432	41,607,911	40,111,308
公 社 債	923,898,150	882,172,950	895,274,100	742,168,350	758,869,650	826,763,150
そ の 他 未 収 収 益	1,389,019	181,950	267,812	354,002	428,071	506,314
(B)負 債	29,194,228	19,973,475	21,743,805	46,375,856	18,502,709	22,412,096
未 払 金	-	-	-	21,419,000	-	-
未 払 収 益 分 配 金	15,139,168	14,867,994	14,595,639	9,292,178	9,209,859	9,267,780
未 払 解 約 金	12,671,410	3,754,584	5,791,065	14,474,467	8,042,752	12,112,768
未 払 信 託 報 酬	1,240,229	1,197,511	1,203,806	1,040,993	1,089,093	910,406
そ の 他 未 払 費 用	143,421	153,386	153,295	149,218	161,005	121,142
(C)純資産総額(A-B)	959,048,041	911,308,672	926,187,768	772,579,928	782,402,923	844,968,676
元 本	3,027,833,780	2,973,598,839	2,919,127,979	3,097,392,950	3,069,953,036	3,089,260,168
次 期 繰 越 損 益 金	△2,068,785,739	△2,062,290,167	△1,992,940,211	△2,324,813,022	△2,287,550,113	△2,244,291,492
(D)受 益 権 総 口 数	3,027,833,780口	2,973,598,839口	2,919,127,979口	3,097,392,950口	3,069,953,036口	3,089,260,168口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,167円	3,065円	3,173円	2,494円	2,549円	2,735円

(注) 期首元本額は3,136,933,134円、第78～83期中追加設定元本額は837,863,927円、第78～83期中一部解約元本額は885,536,893円です。

■ 損益の状況

第78期(自2018年4月24日 至2018年5月22日) 第81期(自2018年7月24日 至2018年 8月22日)
 第79期(自2018年5月23日 至2018年6月22日) 第82期(自2018年8月23日 至2018年 9月25日)
 第80期(自2018年6月23日 至2018年7月23日) 第83期(自2018年9月26日 至2018年10月22日)

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(A) 配 当 等 收 益	54,446,624円	56,208,253円	58,235,625円	58,383,441円	10,217,078円	10,311,197円
受 取 利 息	54,359,231	56,123,790	58,153,010	58,302,529	10,148,878	10,236,647
そ の 他 收 益 金	91,868	87,594	85,062	83,336	72,315	77,043
支 払 利 息	△4,475	△3,131	△2,447	△2,424	△4,115	△2,493
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△69,241,173	△70,280,940	△12,091,825	△236,093,386	16,957,596	56,329,369
売 買 益	922,728	2,369,251	97,065	14,747,707	17,210,977	57,088,755
売 買 損	△70,163,901	△72,650,191	△12,188,890	△250,841,093	△253,381	△759,386
(C) 信 託 報 酬 等	△1,459,048	△1,429,729	△1,434,104	△1,271,780	△1,329,697	△1,134,231
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△16,253,597	△15,502,416	44,709,696	△178,981,725	25,844,977	65,506,335
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△670,016,603	△667,999,898	△665,427,253	△596,173,553	△749,670,413	△707,659,054
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1,367,376,371	△1,363,919,859	△1,357,627,015	△1,540,365,566	△1,554,514,818	△1,592,870,993
(配 当 等 相 当 額)	(1,398,401,813)	(1,379,752,996)	(1,362,290,932)	(1,485,052,594)	(1,482,701,207)	(1,504,000,975)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,765,778,184)	(△2,743,672,855)	(△2,719,917,947)	(△3,025,418,160)	(△3,037,216,025)	(△3,096,871,968)
(G) 合 計 (D+E+F)	△2,053,646,571	△2,047,422,173	△1,978,344,572	△2,315,520,844	△2,278,340,254	△2,235,023,712
(H) 收 益 分 配 金	△15,139,168	△14,867,994	△14,595,639	△9,292,178	△9,209,859	△9,267,780
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△2,068,785,739	△2,062,290,167	△1,992,940,211	△2,324,813,022	△2,287,550,113	△2,244,291,492
追 加 信 託 差 損 益 金	△1,367,376,371	△1,363,919,859	△1,357,627,015	△1,540,365,566	△1,554,514,818	△1,592,870,993
(配 当 等 相 当 額)	(1,398,401,813)	(1,379,752,996)	(1,362,290,932)	(1,485,052,594)	(1,482,701,207)	(1,504,000,975)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,765,778,184)	(△2,743,672,855)	(△2,719,917,947)	(△3,025,418,160)	(△3,037,216,025)	(△3,096,871,968)
分 配 準 備 積 立 金	211,853,071	242,069,828	273,233,098	304,692,518	292,032,535	283,060,410
繰 越 損 益 金	△913,262,439	△940,440,136	△908,546,294	△1,089,139,974	△1,025,067,830	△934,480,909

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(A) 配当等収益額 (費用控除後)	52,987,576円	54,778,524円	56,801,521円	57,111,661円	9,717,111円	10,135,731円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	－円	－円	－円	－円	－円	－円
(C) 収益調整金額	1,398,401,813円	1,379,752,996円	1,362,290,932円	1,485,052,594円	1,482,701,207円	1,504,000,975円
(D) 分配準備積立金額	174,004,663円	202,159,298円	231,027,216円	256,873,035円	291,525,283円	282,192,459円
(E) 分配対象収益額 (A+B+C+D)	1,625,394,052円	1,636,690,818円	1,650,119,669円	1,799,037,290円	1,783,943,601円	1,796,329,165円
(F) 期末残存口数	3,027,833,780口	2,973,598,839口	2,919,127,979口	3,097,392,950口	3,069,953,036口	3,089,260,168口
(G) 収益分配対象額 (1万口当たり) (E/F×10,000)	5,368.17円	5,504.07円	5,652.78円	5,808.23円	5,810.98円	5,814.76円
(H) 分配金額 (1万口当たり)	50円	50円	50円	30円	30円	30円
(I) 収益分配金額 (F×H/10,000)	15,139,168円	14,867,994円	14,595,639円	9,292,178円	9,209,859円	9,267,780円

分配金のお知らせ

	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
1万口当たり分配金	50円	50円	50円	30円	30円	30円

収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱い販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。
- ・分配金再投資コースを選択されている場合は、各決算日の基準価額に基づき、お客様の口座に繰り入れて再投資いたします。

収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

受益者別の普通分配金に対する課税について

個人の受益者

20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、および地方税5%)の税率となります。

法人の受益者

個人の受益者とは異なります。

※税法が改正された場合等は、上記の内容が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。